

小江利得 （通稱） 經濟評論家。明治二十一年十一月二十日島根縣生れ、昭和四十七年五月二十八日歿（一八九一—一九七二）。本名利得 （本名）。筆名きばま、城南隱士。大正四年早稻田大學政治経済學部卒。十年中外商業新報社入社、のち主筆、社長。戦後國家公正委員等を務め、昭和二十一年からの東京放送テレビ番組「時事放談」に出演、毒舌で人気を得た。また古典籍等の藏書家として著名。

著書『政界夜話』（城南隱士名、昭和十二年一月八日新日本社）、『民族外交の顔』（合著・竹内實積編、昭和十五年七月十五日創倉書房）、『日本の歩み五千年』（合著、昭和二十六年十一月二十日早川書房）、『某月某日』（合著、湧口茂輝編、昭和二十一年四月二十五日新日本経済新聞社）、『東山の慢話』（合著・京都新聞編輯部編、昭和二十一年十一月二十日河出書房）、『河出新書』（、『天の代りて』（昭和二十四年七月十五日中央公論社）等。

